

土岡光郎

つちおか・みつろう

教師、津之郷村村長、広島県議会議員

経歴

生: 明治31年(1898年)12月8日、福山市津之郷町大字津之郷生まれ

没: 平成元年(1989年)1月17日、享年92歳

大正6年(1917年)	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
大正8年(1919年)	20歳	上田蚕糸専門学校(現信州大学)卒業
大正8年(1919年)	20歳	現農林省入省
大正10年(1921年)	22歳	日本大学政経学部政治学科卒業
大正10年(1921年)	22歳	日本経済新聞社入社
大正12年(1923年)	24歳	岡山県矢掛女学校教師
大正15年(1926年)	27歳	広島県立沼南実業学校教頭
昭和13年(1938年)3月31日	39歳	広島県立油木農学校校長(第5代)
昭和16年(1941年)	42歳	広島県立上下農学校校長
昭和20年(1945年)	46歳	広島県教育委員会
昭和21年(1946年)	47歳	沼隈郡津之郷村村長、津之郷産業組合組合長
昭和22年(1947年)	48歳	広島県議会議員
昭和22年(1947年)	48歳	広島無尽株式会社(現広島総合銀行)取締役福山支店長、尾道・三原・因島・甲山・松永・府中・岡山・倉敷を開設
昭和23年(1948年)～ 昭和36年(1961年)	49～ 62歳	広島相互銀行常務取締役
昭和36年(1961年)	62歳	中国いすゞモーター販売株式会社社長
—	—	東洋観光株式会社社長
昭和61年(1986年)	88歳	退職公務員連盟より感謝状(教育界への貢献)

生い立ちと学業、業績

広島県立福山中学校(誠之館)、日本大学政経学部を卒業。

官吏、学校長(油木・上下高校)、津之郷村村長・県会議員を経て金融界に入り、昭和23年(1948年)来広島相互銀行常務取締役まで栄進した。

さらに請われて実業界に出向、中国いすず自動車株式会社社長を経て現職に就いた。

爾来偉観を誇るモーテル福山城をはじめとしてホテル・海水浴場を経営し、大阪・滋賀方面にもモーテル・ドライブインを新設し、飛躍的な発展を遂げているが、氏の瘦躯から奇蹟のように生み出される新企業に驚異の目をみはる人が多い。

天性の事業家といえようか。

企画家として余人の追随を許さぬといわれる所以である。

資本集めにも支持者が多いのも氏の魅力ある人間味をもの語っている。

なお大規模な備後モーテル建設の構想もあり、氏の事業の才は留るところを知らず、鋭敏な頭脳は他の気づかぬところに着眼して事業は一層進展するであろう。

観光業界異色の実力者で、企業の企画面では備後第一の評価のなされている人。

銀行家出身で理財の道にも秀でている。

「誠実」が信条。 (出典1)

出典1:『備後工業特別地域産業人名鑑』、38の1頁、式見静夫著刊、昭和42年12月

出典2:『創立六十周年記念誌 広島県立油木高等学校』、86・99・264頁、「講堂を建てた頃」ほか、土岡光郎、創立六十周年記念誌編集委員会編、創立六十周年記念事業実行委員会刊、昭和58年10月1日

2005年3月9日更新:肩書●2006年4月3日更新:タイトル●2006年5月26日更新:連絡先(削除)●2008年3月7日更新:経歴・本文・出典●2009年11月24日更新:経歴●